

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトA		
担当者(Instructors)	三好 弥生	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業では、認知症とそのケアに関する基本的な知識を学ぶことを目的とする。認知症を有する当事者の体験をもとに、本人の困りごとについて、具体的にどのようなことがどのように不自由になるのか、またなぜそうなるのかを理解した上で、どのように生活を支援すればよいかについて理解する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	前半は講義を中心に授業を展開する。後半には、認知症カフェなど認知症者を支援している事業所のフィールドワークを実施する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要	超高齢社会と認知症を取り巻く現状	<input type="checkbox"/>
第2回	認知症とは何か	認知・認知機能とはなにか、認知症の定義、認知症の原因となる疾患について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第3回	認知症の人の世界とそのケア(1)被害妄想	被害妄想や同じことを繰り返し聞くのはなぜかについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第4回	認知症の人の世界とそのケア(2)暴言・暴力	繰り返される行動や感情のコントロールが難しくなるのはなぜかについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	認知症の人の世界とそのケア(3)注意力の低下	車の運転が難しくなったり、交通事故にあうことが増えるのはなぜかについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第6回	認知症の人の世界とそのケア(4)遂行機能障害	得意な料理でできなくなったり、行き慣れた場所で迷ったりするのはなぜかについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第7回	認知症の人の世界とそのケア(5)帰宅願望・徘徊	自宅にいながら「家に帰りたい」と言ったり、徘徊したりするのはなぜかについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第8回	認知症の人の世界とそのケア(6)失禁	排泄の失敗が起こるのはなぜかについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第9回	介護者する人の思い、ストレス	家族介護者のストレス、介護する上での心得、介護者への支援について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第10回	フィールドワーク：認知症者が集う場	認知症カフェなど認知症者が集う場を視察し、当事者や介護者との関わりを通して、認知症の理解を深める	<input type="checkbox"/>
第11回	フィールドワーク：認知症者が集う場	認知症カフェなど認知症者が集う場を視察し、当事者や介護者との関わりを通して、認知症の理解を深める	<input type="checkbox"/>
第12回	フィールドワーク：認知症者が集う場	認知症カフェなど認知症者が集う場を視察し、当事者や介護者との関わりを通して、認知症の理解を深める	<input type="checkbox"/>
第13回	フィールドワーク：認知症者が集う場	認知症カフェなど認知症者が集う場を視察し、当事者や介護者との関わりを通して、認知症の理解を深める	<input type="checkbox"/>
第14回	フィールドワーク：認知症者が集う場	認知症カフェなど認知症者が集う場を視察し、当事者や介護者との関わりを通して、認知症の理解を深める	<input type="checkbox"/>
第15回	フィールドワークの報告とまとめ	フィールドワークを含む授業全体を総括する	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の授業内容に関する資料、テキストに目を通し、キーワードについて調べておく(2時間)。授業後は、課題、レポートを作成する(2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題・レポートは翌週の授業で発表し、ディスカッションを通して他者の考えも知り理解する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	「認知症とそのケア」の問題について、自らにも関連する問題として認識し、これを他者と協働することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

- ・課題・レポートの提出 (80%)
- ・フィールドワークを含む総括の発表 (20%)

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ニコ・ニコルソン・佐藤真一『マンガ認知症』	978-4-480-07322-8
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		